



環境リスクPress

2024年12月発行／VOL.53

環境リスク関連ニュース

神奈川県横浜市動物園の観覧通路からアスベスト (2024/10)

横浜市立金沢動物園(金沢区)のコアラ舎観覧通路にアスベストを含む建材が使われていた問題で、市は23日、空気中の濃度を検査した結果、「健康上の問題はない状況」と発表している。アスベストの飛散性が高い建材使用が18日に判明し、同じ建材を使っている可能性があるオセアニア休憩所とともに立ち入り禁止にしていた。市が21日に空気中の濃度を計6カ所で調査したところ、観覧通路入り口が検出の限界値で、それ以外は検出されなかったという。今後、建材のアスベスト含有状況を調べて対策を講じ、施設の利用を再開する。コアラ舎は当初の予定通り12月から3月まで改修工事を実施

北海道清掃センターの排出ガス 基準値上回るダイオキシン (2024/10)

北海道の清里町にある清掃センターの排出ガスから基準値を上回るダイオキシンが検出され、清里町は施設の稼働を取りやめている。清掃センターはおよそ40年前に建てられたもので、過去に行った同様の検査では基準値を超えるダイオキシンが検出されたことはないとのこと。清里町は原因が分かるまで施設の稼働を行わないとしている。

東京都新宿区・戸山公園で基準値超の鉛・水銀を検出 (2024/11)

東京・新宿区の都立戸山公園で土壌から鉛や水銀が検出され、東京都は一部の立ち入りを制限した。戸山公園の改修工事に伴い9月から土壌調査をしたところ、530カ所の地点のうち、およそ4分の1で国の基準値を超える鉛の成分が確認され、1カ所で水銀の成分も検出された。鉛は多いところで基準値のおよそ37倍、水銀はおよそ2.4倍でしたが、都の担当者は「現状で健康への影響はないと考えている」と説明していて、土壌の入れ替えや舗装などの対策を進める方針。1954年に開園した戸山公園は、明治時代から戦時中まで旧日本軍の射撃場が存在していた。射撃場で当時使用されていた弾薬の鉛などが検出された可能性があるとしている。

環境リスク関連ニュース

沖縄那覇市営住宅からアスベスト 59世帯を転居 (2024/10)

那覇市にある小禄市営住宅10号棟(1988年建築)の一室で、天井に使用されていた資材「吹付けパーライト」から基準値を超えるアスベスト(石綿)が検出された。市は10号棟と同時期に建てられた11号棟と共に、入居者を2025年度にも同市営住宅の別棟などに転居させ、除去作業を行う。現時点で入居者から健康被害の訴えはないという。除去作業で転居の対象となるのは、10号棟と11号棟の計59世帯で、工事などに伴う費用は約1億2千万円を見込む。入居者の退去に伴い天井の修繕をしたところ、資材の重量に対して基準値の0.1%を超える0.8%のアスベストが検出された。那覇市は、「吹付けパーライト」は建築基準法の規制対象外で、改修工事を行わない限り飛散する恐れはないとのことである。

山梨県富士川町 文化会館と旧保育所解体計画 (2024/11)

富士川町は、教育文化会館(鵜沢地内 558.46㎡)と旧第二保育所(長澤地内 626.28㎡)の解体工事を今後計画している。本年度はアスベストの含有調査を行うほか、解体設計業務を進めて成果品をまとめる。解体工事の時期は現段階で2026~27年ごろを目指す。

広島県基準値7倍の水質汚染で操業停止の産廃処分場 (2024/11)

広島県三原市の産廃処分場の周辺の水質汚染が深刻化し、県は業者に対し4回目の行政指導で操業を一時停止させた。周辺で収穫されたコメは検査で「安全」とされたものの、農家や住民の不安は消えていない。同所では、7月に県が行った浸透水検査で基準値を超える鉛が検出され、「勧告」による行政指導で、廃棄物の搬入と埋め立てが一時的に中止された。その後、改善が見られたとして県は9月に操業再開を認めている。ところが10月末の再検査で基準値の7倍を超える水質汚染が確認され、今度は「勧告」より厳しい「警告」による指導が下り、11日から再び操業を停止。県の行政指導はこれで4回目となっている。

過去の環境リスクPressはこちらから [環境リスク.COM](https://www.kankyorisk.com) <https://www.kankyorisk.com>

【発行】 アスベックス株式会社

〒194-0023 東京都町田市旭町2-7-8

[TEL]042-726-0744

[FAX]042-726-0726